

殿山第二小だより

令和 4 年 7 月 11 日 第 13 号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

一学期もあと 10 日となりました。

先週は、個人懇談週間となり短時間ではありますが、保護者の皆様と、お子さまの成長について語り合う機会となりました。

暑さ厳しく、天候不順の折に、ご来校いただきましたことに感謝申し上げます。保護者の皆様と教職員が互いの思いを伝え合いながら、前向きで、明るい人間関係を築いていくことが、子どもたちの心身のより良き成長につながるものと考えています。

気持ちを
きかせて
その3

さて、今回の「殿山第二小だより」では、私がこれまでも、これからも大事にしたいと心に留めている一つを述べたいと思います。

それは、「兎（うさぎ）と亀（かめ）」の話【イソップによる寓話（ぐうわ）の一つ。うさぎとかめが競争して、足の速いうさぎが途中でひと休みして寝込んでしまった結果、かめに負けてしまう話。】から考えたことです。

かめは、地道にこつこつと歩みを進めて行くことで勝利をおさめる事が出来、うさぎは、自身の力を過信し油断をしたために、負けてしまいました。

人にはそれぞれ得意なこともあれば、苦手なこともあり、好きなこともあれば、嫌いなこともあります。そして、人の思い・感じ方もそれぞれに違うものです。

そんな中、殿山第二小学校児童 432 名が、それぞれの個性を持って学びを続けています。学校は、一人ひとりの個の学びと 432 名の集団としての学びを積み上げているところです。子どもたちには、日々の学校生活の中で「自身の出来ることは確実にやりきる。」「少し難しいことやしんどいことに挑戦する。」という二つの気持ちを持って、ねばり強く、努力を続ける人であってほしいと思っています。

殿山第二小学校教職員も得意なこともあれば苦手なこともあります。教職の経験年数も違います。人生経験も違います。しかしながら、教育に対する“情熱”は、それぞれに高く持っています。432 名の子どもたちと共に、“知恵”を出し合いながらかめのねばり強さとうさぎのスピード感を持ち合わせて「子どもたちの笑顔あふれる殿山第二小学校」＝『殿二ッコリ』を築いていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ温かいご支援・ご協力を今後ともよろしくお願いします。

民間施設での水泳学習について

現在、どの学年も 2 巡目を終え、3 巡目に入ってきたところです。保護者の皆様には、お子さまの準備物等にご配慮いただきありがとうございます。

安全第一に学習をすすめているところですが、子どもたちは、先生の話をよく聞き、集中して学習に取り組むことができます。運動の質・量ともに多くなっていますので、終わった後は、疲れも出るようです。

しかしながら、学習を終えた子どもたちの表情からは、満足感や達成感を味わっているように思えます。それぞれの泳力に応じて、指導内容も考えながら進めていますので、保護者の皆様、ご安心ください。何かございましたら遠慮なく、学校まで連絡していただけると幸いです。

